

令和2年度 鷗小学校学校評価アンケート結果について

■よく当てはまる ■やや当てはまる ■あまり当てはまらない ■当てはまらない

①保護者アンケート

4点満点 0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

1	学校は、子どものよさや頑張りを認め、自己肯定感を育む教育をしている。	3.2	102	304	41
2	学校は、分かる・楽しい授業に努め、子どもに学力を付けている。	3.1	91	304	53
3	学校は、保護者や子どもの悩みや困りごとに寄り添い、真摯に対応している。	3.3	132	249	66
4	学校は、いじめ防止基本方針(ホームページ参照)に沿ったいじめの防止や対応に取り組み、温かい心の育成とよりよい関係づくりに取り組んでいる。	3.2	128	263	57
5	学校は、家庭や地域と連携し、緊急時の情報発信や、非常時を想定した訓練、環境衛生など、児童の安心・安全に努めている。	3.4	179	236	30
6	学校は、タブレットなどICTを使った新しい教育活動に努めている。	3.4	195	226	34
7	学校は、英語に親しみ、外国の文化に関心をもてるよう工夫している。	3	74	273	102
8	子どもは、自他(家族・仲間・地域の人)の命の尊さを理解した行動をしている。	3.3	149	262	42
9	子どもは、苦手なことに挑戦し、努力することのよさを感じている。	2.8	61	218	162
10	子どもは、話す人を見て、最後まで話を聞くことができる。	3	85	254	109
11	子どもは、理由をつけて思いや考えを話すことができる。	3.1	103	253	96
12	子どもは、家庭学習に進んで取り組んでいる。	2.9	102	189	144
13	子どもは、週に1時間以上、読書に親しんでいる。	2.3	73	94	152
14	子どもは、進んであいさつをしている。また、「ありがとう、ごめんなさい」をきちんとと言える。	3.1	114	254	81
15	子どもは、家庭で身の回りの整頓や手伝い、掃除などを自分から行っている。	2.6	53	186	173
16	子どもは、家庭や地域で温かい言葉で話したり、譲ったり、助け合ったりしている。	3	78	279	94
17	子どもは、ゲームや携帯、テレビ、タブレットの約束や、きまりを守って生活している。	2.7	84	195	149
18	家庭では、子どもの話をよく聞いたり、よさや成長を見つけてほめたりしている。	3.1	92	316	47

②子どもアンケート

4点満点 0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

1	先生は、自分のよいところや頑張っているところを認めてくれる。	3.4	418	289	54
2	授業がよく分かる。学校が楽しい。	3.4	427	260	69
3	先生は悩みや相談ごとに対し、親身に応じてくれる。	3.6	502	218	41
4	人のいやがることをしていない。また、悲しい思いをしている子をそのままにしない。	3.4	452	248	42
5	日頃から、事故や災害、けが等から身を守れるよう、よりよく考え、判断して行動している。	3.5	473	248	48
6	タブレットを使って勉強することができる。	3.7	567	171	32
7	英語で簡単なコミュニケーションをしたり、外国の文化を学んだりできて楽しい。	3.2	354	257	111
8	自分の命も周り(家族・仲間・地域)の命を大切に行動している。	3.6	539	203	27
9	苦手なことに対してもあきらめずに取り組むことができる。	3.3	366	311	86
10	話す人を見て、自分の考えと比べながら、最後まで聞くことができる。	3.4	380	328	60
11	自分の考えをわけをつけて話すことができる。	3.1	283	290	170
12	家庭学習に取り組む時間を決めて、自分から進んで行っている。	3.1	318	284	136
13	1週間で1時間以上、読書をしている。	2.9	305	190	156
14	あいさつや返事、「ありがとう」「ごめんなさい」を自分から言う。	3.6	481	248	41
15	学校や家庭で、身の回りの整理整頓や仕事、手伝い、掃除などを進んで行っている。	3.3	339	310	115
16	学校や家庭、地域で温かい言葉で話したり、ゆずったり、助け合ったりしている。	3.4	372	323	73
17	ゲームや携帯、テレビ、タブレットの約束や、きまり、ルールを守っている。	3.5	445	250	64
18	家の人は話をよく聞いてくれる。また、自分のよいところが褒められているところをほめてくれる。	3.7	577	147	33

<保護者評価>

学校運営では、家庭や地域と連携して児童の安心安全に努めてきたことや、いじめの防止ならびに自己肯定感の醸成などに努めてきたことをおおむねよいと評価していただきました。

反面、「読書に親しむ」や「身の回りを整頓する」「誰かのために働く」、「約束やきまりを守る」などが課題であると分かりました。

「よりよい自分になりたい」「学校や家庭、地域をよりよくしていきたい」と子どもが願いをもち、何をするとよいか思考・判断し、あきらめずにやりぬき、省察する力が必要と考えました。

- ・コロナ禍とあり、特に命の尊重、人権、自己肯定感の醸成に重点を置いて運営して参りました。次年度もお子様への安心安全、一人ひとりを大切に教育、分かる・できる授業に努めて参ります。
- ・いじめの防止は条例に基づき、学校と家庭・地域と共に「いじめをしない、させない、ゆるさない」姿勢で取り組んで参ります。人権意識が重要になりますので、学校のみならずご家庭でも、人を尊重する姿や、周りを気遣う姿、どんなことがいじめなのかを具体的に考えさせたり、大人が手本を示したりしていきながら、共によりよい生き方を選択できる子に育てていきたいと考えています。
- ・規範意識の醸成や自立、貢献は、社会に出た時のことを考え、今から育てていく必要があります。望ましい行動を価値付けたり、よりよい姿を具体化させたり、「どうするとよいのか」問いかけたりしながら正しく思考・判断できるよう、家庭や地域と連携しながら育てて参ります。
- ・今日「読解力」が重視されています。特に教科書を読み解く力は培いたいものです。学校で学んだことを復習したい、もっと深く学んでみたい、明日の授業の前に読んでおきたいなど活用できるよう推奨していきます。また、図書館の本に親しんだり、家庭学習に進んで取り組んだりできるよう、自ら課題をもち、自己選択・自己決定して学ぶ力を育むよう家庭と連携しながら努めて参ります。

<子ども評価>

「よさや頑張りをほめる」「話をよく聞く」など、大人が親身になって子どもに接することが自己肯定感を高めることにつながることが分かりました。「人の嫌がることをしない」や「命を大切にすること」など、多くの子どもが意識して生活していたことも分かりました。

「読書」や「家庭学習」「わけをつけて話す」などが低いため、手立てが必要と分かりました。

「約束やきまりを守る」「整頓や仕事、手伝い、掃除」など、保護者評価とずれがあることから、正しい認識に基づいて思考・判断できる力を子どもに身に付けさせる必要があることも分かりました。